泌尿器科　研究業績　（2018年）

学会発表（特別・教育講演、シンポジウム含む）

1 ① 鎌田和弥、奈村憲幸、萩原敬史
② 当院におけるメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患（MTXLPD）21例の検討
③ ワークショップ
④ 第62回日本リウマチ学会総会・学術総会
⑤ 東京
⑥ 2018/4/26-28
⑦ MTXLPDの臨床所見、自然経過、治療反応性につき比較解析を行った。

2 ① 萩原敬史、奈村憲幸、鎌田和弥
② Treat to Target strategyでの機能的寛解達成状況の検討
③ ポスター
④ 第62回日本リウマチ学会総会・学術総会
⑤ 東京
⑥ 2018/4/26-28
⑦ 機能的寛解は日常生活と社会活動性において達成する必要があり、現在の治療レベルでもまだまだ到達できていない。定期的な機能評価を行うことで良きアウトカムに貢献できる可能性がある。

3 ① 奈村憲幸、鎌田和弥　萩原敬史
② EoRAとPMRにおける臨床的所見の検討
③ ポスター
④ 第62回日本リウマチ学会総会・学術総会
⑤ 東京
⑥ 2018/4/26-28
⑦ PMRとEoRAの早期鑑別に関節超音波検査だけでなく関節評価の必要性について提示した。

4 ① 奈村憲幸、鎌田和弥　萩原敬史
② 再発性多発軟骨炎の2症例
③ ポスター
④ 第67回日本アレルギー学会学術大会
⑤ 千葉市
⑥ 2018/6/22―24
⑦ 早期診断の気管支鏡検査の必要性と、早期治療を施行しても呼吸器機能検査の改善がないことを提示した

5 ① T. Hagiwara, K. Kamada, N. Namura.
② Methotrexate tolerability and Dysfunction upon initial consultation firmly influence the achievement of Boolean remission with tight control of rheumatoid arthritis.
③ Poster
④ 20th Asia pacific League of Associations for Rheumatology Congress-APLAR2018.
⑤ Kaohsiung, Taiwan.
⑥ Sep 6-9, 2018.
⑦ In RA patients, our results indicated the importance of facility consultation time for T2T treatment strategies, methotrexate tolerability, and mild dysfunction at the initial interview.